

東北学院震災復興対策委員会（第 14 回）次第

日時：平成 23 年 10 月 17 日（水）常務理事会終了後

場所：土樋キャンパス 1 号館 6 階会議室

委員：平河内理事長（委員長）・星宮学院長（副委員長）宮城総務担当常任理事

関谷財務担当常任理事・柴田人事担当常任理事・高橋法人事務局長・斎藤学務担当副学長

高木法学部長・永井中学校・高等学校長・久能榴ヶ岡高等学校長・日野総務部長・高橋財

務部長・佐々木施設部長・佐藤庶務部長・斎藤庶務課長・若生人事課長・駒板財務課長

陪席：那須監事

黙祷 委員長 平河内 健治

協議事項	ページ
1、前回議事録確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2、中学校・高等学校高架水槽復旧工事・・・・・・・・・・	2～8
3、泉キャンパス第 2 調整池上部法面崩落復旧工事・・・・・・・・	9～15
4、その他	

第13回 東北学院震災復興対策委員会議事録

日 時：平成23年9月21日（水） 14:05～14:30

場 所：1号館6階会議室

出席委員：平河内健治 星宮 望 宮城光信 関谷 登 柴田良孝 齋藤 誠 高木龍一郎

永井英司 高橋清昭、佐藤範明 高橋秀悦 日野 哲 佐々木文彦

斎藤英夫 若生克義 駒板高明

以上16名

陪 席：那須和良（監事） 湯本良次（榴ヶ岡高等学校副校長）

協議事項

1. 前回第12回議事録確認 委員会終了時まで確認いただき、承認された。

2. 財団法人 竹中育英会からの「震災支援金」の決定のお知らせ

説明：高橋財務部長 別紙資料に基づき、支援金額は3,500万円が9月末日に振り込まれるとの説明があり了承された。なお、使途は全額、被災学生に対する学資・修学援助にあてられることも併せて了承された。

3. 石巻からの通学バス利用者アンケート結果

説明：齋藤学務担当副学長 別紙資料に基づき説明があり、現時点で可能な対応として、自宅通学学生に対し ①通学時間増に伴う教員への配慮依頼 ②大学内の特別駐車許可についての検討 の2点について承認された。

以 上



東北学院中高発第 2056 号

平成 23 年 10 月 18 日

学校法人東北学院

理事長 平河内 健治 殿

東北学院中学校・高等学校

校長 永井 英



東日本大震災による給排水設備棟修繕案について（上申）

標記の件について、本校では復旧工事に関して施設課にも協力を依頼しつつ検討を実施してまいりました。しかし、給排水設備棟の被害状況を見るときに工事に関しては高度な専門的知識を要するため本校だけでは判断ができず、再度施設課に協力を依頼してきました。

本校としては、施工会社である前田建設工業株式会社の資料をもとに、給排水設備棟を残す方向で考えました。

つきましては、その方向を実現すべく工事等に関して、専門的視点から関係部署にてご検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、東日本大震災に係る私立学校施設災害復旧事業に対する補助については、現段階では平成 23 年度内を想定した予算での補助となっております。平成 24 年度以降に係る修繕については補助対象となるかが未定であるため、補助対象事業として行うには平成 23 年度内に工事を竣工することが必要と思われますことを申し添えます。

添付資料

給排水設備棟工事第 2 案（前田建設提案）

（参考資料）

- ・ 東北学院中学校・高等学校 給排水設備棟震災被害対策比較検討表（日建設計提案）
- ・ 給排水設備棟対策工事第 1 案（前田建設提案）

東日本大震災による給排水設備棟修繕案比較検討書

1. 設計会社（日建設計）からの被害状況結果

2011年3月11日発生の本震および2011年4月7日発生最大の余震により、東北学院中学校・高等学校の給排水設備棟は大きな被害を受けました。

2011年4月22日に実施した被災度調査の結果、基礎構造、上部構造とも中破の被災度で礼拝堂南立面に65mm、礼拝堂西立面に205mmの幅で傾斜しており、また2F連結部、4F連結部が破壊されている状況です。今後、使用を継続するためには構造的な修繕を行い、耐力を回復する必要があるとの報告がありました。

2. 修繕検討方法比較

上記報告を踏まえ、被災した給排水設備棟の修繕案を施工会社である前田建設株式会社と協議した結果、下記のとおり修繕案を提示いたします。

記

【案】

高架水槽移設案（給排水設備棟維持）

<工事概要>

高架水槽を移設し、給排水設備棟を維持。渡り廊下一部解体。

<メリット>

給排水設備棟を維持。高架水槽を移設することにより、給排水設備棟の軽量化を実現し大幅に耐震性が強化。

<デメリット>

上水、中水が加圧給水方式となる。

工期：11/1～3/31	金額：24,200,000 円
--------------	-----------------

《参考1》

給排水設備棟解体および高架水槽移設案

<工事概要>

給排水設備棟を解体し、高架水槽を移設。礼拝堂からの避難階段新設。

<メリット>

地震による給排水設備棟倒壊の危険性を完全に回避。

<デメリット>

給排水設備棟がなくなる。

給水方法が加圧給水方式となる。

※解体費用については、東日本大震災に係る私立学校施設災害復旧事業に対する補助の対象外となる可能性があります。

工期：11/1～3/31	金額：49,540,000 円
--------------	-----------------

《参考 2》

給排水設備棟補強案（傾斜したまま使用）

＜工事概要＞

上部連結部を解体。基礎部を補強。

＜メリット＞

給排水設備棟を維持。給排水設備棟にある設備機能（給排水機能）を維持。

今後発生する地震の際、上部連結部破損の懸念事項を解決。

＜デメリット＞

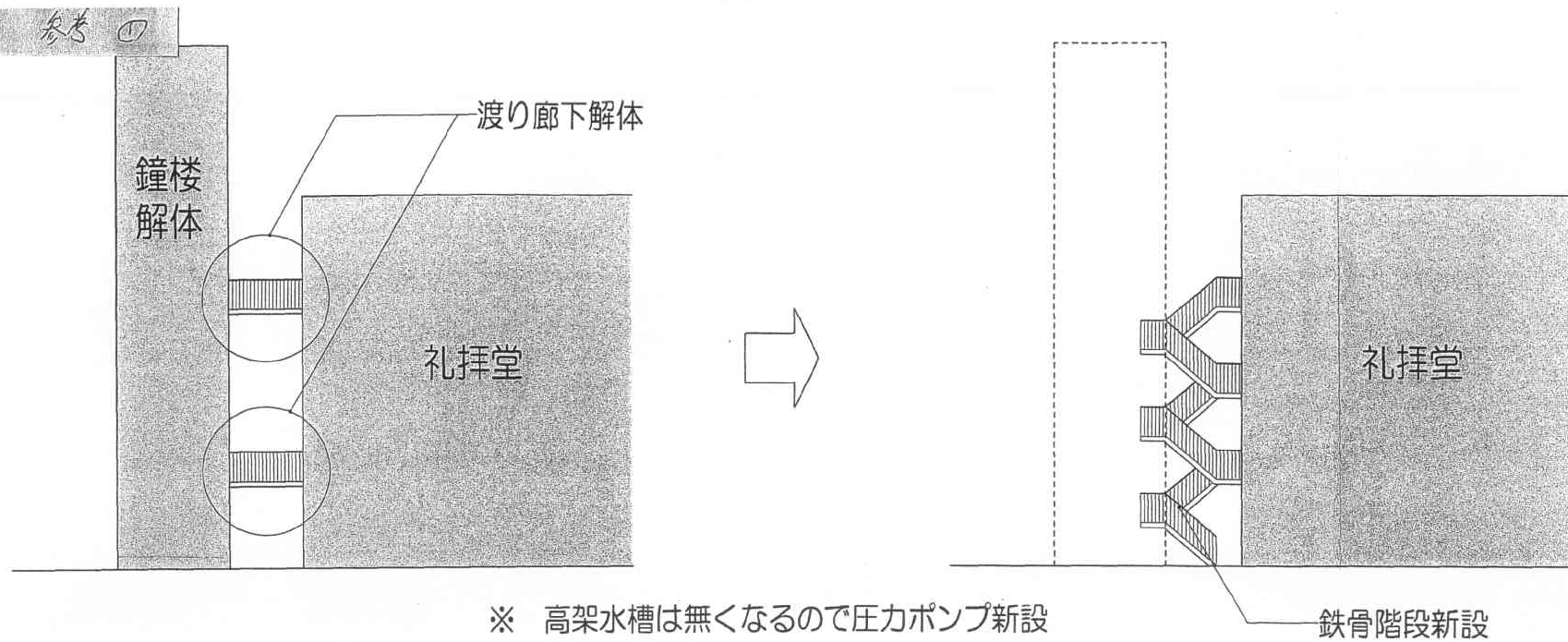
給排水設備棟を傾斜したまま利用することになる。

また、震度5強以上の被災を受けた場合、給排水設備棟の傾斜が大きく進行する恐れがある。その場合、外壁タイルの割れや破片の落下、構造材の大きな損傷などが懸念される。

工期：11/1～3/31	金額：54,000,000 円
--------------	-----------------

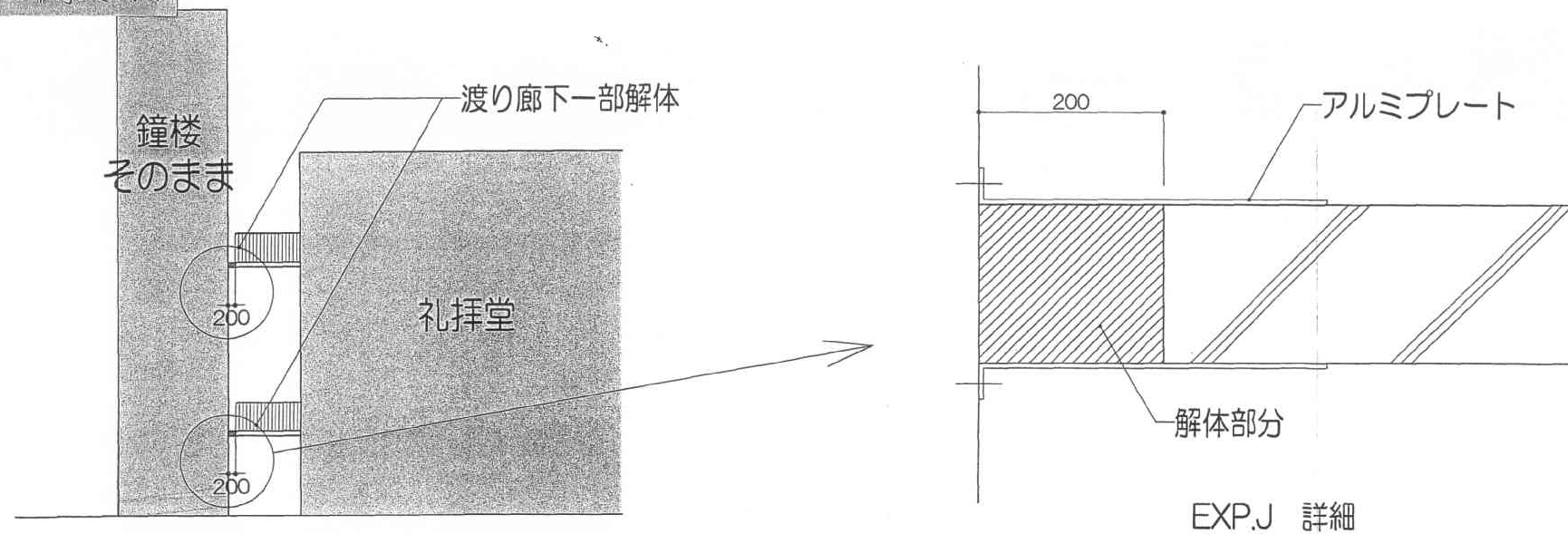
※平成23年度第一次補正予算では日建設計の提示額4,600万円及びその他給排水設備棟に関する工事費を合わせて47,933,000円にて計上している。しかし、その後、工法等は変更ないが5,400万円にて提示される。

第1案



第2案

中高提示案



参考②

東北学院中学高等学校 鐘楼震災被害対策比較検討

	0案	A-1案	A-2案	A-3案	B-1案	B-2案	C案
概要	現状のまま使用	現状の傾斜状況を維持するよう補強 (礼拝堂と完全分離)	現状の傾斜状況を維持するよう補強 (礼拝堂と接続補強)	現状の傾斜状況を維持するよう補強 (礼拝堂の上部を一部解体、機能は維持、構造耐力負担を軽減)	鐘楼解体案 上水、中水、加圧給水方式案	鐘楼解体案 上水、中水、高架水槽方式(現状と同様)案	鐘楼解体、復旧案
概念図							
工事概要	<ul style="list-style-type: none"> 上部連結部解体 2階連結部EXP.J設置 同上設備フレキ設置 4階設備配線ルート変更 基礎被災状況確認 外構植栽帯等新設 	<ul style="list-style-type: none"> 上部連結部解体 2階連結部EXP.J設置 同上設備フレキ設置 4階設備配線ルート変更 基礎部補強 基礎部補替 外構植栽帯等新設 	<ul style="list-style-type: none"> 上部連結部解体、支持部材接続工事 2階連結部解体、支持部材接続工事 調整室周辺ダクト盛替 	<ul style="list-style-type: none"> 上部連結部解体 2階連結部EXP.J設置 同上設備フレキ設置 4階設備配線ルート変更 基礎部補強 雨水盛替 外構植栽帯等新設 	<ul style="list-style-type: none"> 増圧ポンプ新設、切替 鐘楼解体 2階以下避難階段新設 屋上へのメンテナンススタップ設置 	<ul style="list-style-type: none"> 高校棟屋上基礎、防水工事 高架水槽、雑用水槽を新設、切替 鐘楼解体 2階以下避難階段新設 屋上へのメンテナンススタップ設置 	<ul style="list-style-type: none"> 高架水槽、雑用水槽を新設、切替 鐘楼解体 2階以下仮設避難階段設置 鉄骨造の鐘楼を建設
メリット	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在を維持 鐘楼にある設備の機能を維持 地震時の接続部の懸念事項を解決 	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在を維持 鐘楼にある設備の機能を維持 地震時の接続部の懸念事項を解決 	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在を維持 鐘楼にある設備の機能を維持 地震時の接続部の懸念事項を解決 	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在を形は変わるが維持できる。 鐘楼にある設備の機能を維持 地震時の接続部の懸念事項を解決 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 現在と同様のデザイン、機能の継承
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 再度、震度5強以上の被災を受けた場合、鐘楼の傾斜が大きく進行する恐れがある。その場合、外壁タイルの割れや破片の落下、構造材の大きな損傷などが考えられる。 鐘楼は傾斜したまま利用(ただし、見た目にはほとんどわからず) 	<ul style="list-style-type: none"> 鐘楼は傾斜したまま利用(ただし、見た目にはほとんどわからず) 	<ul style="list-style-type: none"> 鐘楼は傾斜したまま利用(ただし、見た目にはほとんどわからず) 	<ul style="list-style-type: none"> 鐘楼は傾斜したまま利用(ただし、見た目にはほとんどわからず) 鐘楼の頂部のデザインが変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在がなくなる。 上水、中水が加圧給水方式となり、停電時には水の使用が出来なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの象徴である鐘楼の存在がなくなる。 コスト、工期が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> コスト、工期共に大きい
予算概算 (税込、設計監理 フィー込)	20,000千円	54,000千円	68,000千円	75,000千円	115,000千円	150,000千円	218,000千円
概略工期 (学校行事等含まず)	3ヶ月	5ヶ月	8ヶ月	8ヶ月	8ヶ月	10ヶ月	12ヶ月
備考	<ul style="list-style-type: none"> 再度、震度5強以上の被災を受けた場合、鐘楼の傾斜が大きく進行する恐れがある。その場合、外壁タイルの割れや破片の落下、構造材の大きな損傷などが考えられる。 追加処置として鐘楼周辺部に植栽帯など新設し落下物に対する危険を低減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度、震度5強以上の被災を受けた場合の傾斜の進行を抑制するため増設杭およびその接続部材を1階まで施工する。 安全の為に追加処置として鐘楼周辺部に外構を新設し落下物に対する危険を低減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度、震度5強以上の被災を受けた場合の傾斜の進行を抑制するため鐘楼と礼拝堂を接続する。 礼拝堂の鐘楼側居室のレイアウト換えなど使い勝手が大きく損なわれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 再度、震度5強以上の被災を受けた場合の傾斜の進行を抑制するため増設杭およびその接続部材を1階まで施工する。 安全の為に追加処置として鐘楼周辺部に外構を新設し落下物に対する危険を低減する。 			

御 見 積 書

学校法人 東北学院 御中

見 積 金 額 一 金 24,200,000 円也 (概算)

(工事代金 23,050,000 円、消費税 1,152,500 円)

工 事 名 称 学校法人 東北学院 中 高 給排水設備棟対策工事 第2案

上記の通り御見積申し上げます。

平成 23年 10月17日

仙台市青葉区二日町4番11号
前田建設工業株式会社 東北支店

執行役員 青木 敏久
支店長

御 見 積 書

学校法人 東北学院 御中

見 積 金 額 一 金 49,540,000 円也 (概算)

(工事代金 47,190,000 円、消費税 2,359,500 円)

工 事 名 称 学校法人 東北学院 中・高 給排水設備棟対策工事 第1案

上 記 の 通 り 御 見 積 申 し 上 げ ま す。

平成 23年 10月 17日

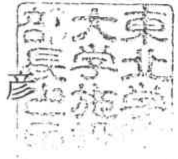
仙台市青葉区二日町4番11号
前田建設工業株式会社 東北支店
執行役員 青 木 敏 久
支 店 長



平成 23 年 10 月 17 日

財務部長 高 橋 秀 悦 殿

施設部長 佐々木 文 彦



泉第 2 調整池上部法面崩落復旧工事について (お願い)

平素は、施設部業務への格別のご配慮及びご理解をいただき、感謝いたしております。

この度の 3.11 東日本大震災並びにその後の度重なる余震と、台風 15 号の影響により泉キャンパス第 2 調整池の上部法面が崩落いたしました。今後余震や台風・豪雨があった場合、更なる崩落が予想されることから早急な復旧が必要となっております。

つきましては、上記工事の予算措置について格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

平成23年度中に復旧が完了することを条件に
予算措置を講ずることといたします。

平成23年10月17日

財務部長

高橋秀悦



東北学院大学泉キャンパス

第2調整池東側法面復旧工事 見積書

2011.10.14(金)

記 号	名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	法面復旧工事費		式	1.0		19,993,670	
	共 通 仮 設 費		式	1.0		4,083,330	
	現 場 管 理 費		式	1.0		7,700,000	
	一 般 管 理 費		式	1.0		3,900,000	
	工 事 費 計					35,677,000	
	消 費 税		式	1.0		1,783,850	
	合 計					37,460,850	

泉キャンパス案内

